

「勇気づけのピアノレッスン」

No.8

＝「音楽の楽しさ」をどのように伝えるか part3＝

今月は「音楽の楽しさをどのように伝えるか」の最終回です。「勇気づけ」は「楽しさ」への第一歩でもあります。ちょっとしたアイデアで、子どもたちを笑顔にすることができるかもしれません。

<遊びやゲームの要素を取り入れる>

子どもたちが好きなこと、夢中になれることについて、一度アンケートを取ってみたいはいかがでしょうか？まず出てくるのはきっと「遊び」や「ゲーム」ですね。「うちの子、勉強は嫌いだけど、遊んだりゲームするのは大好きで、時間も忘れて熱中してるのよね。」お母様方からよく聞く言葉です。でも、どうか嘆かないでください。遊びやゲームに夢中になれることは、決して悪い面ばかりではありません。それをレッスンにも取り入れてみませんか？遊びやゲームの何が子どもを夢中にさせるのでしょうか？それは、自分が「勝った」「クリアできた」ことで、達成感満足感が得られることだと思えます。レッスンに取り入れられる一番手軽なものは色々ありますが、まずは、カードを使ったゲームがお勧めです。音符、休符、調号、音楽記号など、市販のもの、あるいは手作りでも良いので、それを使って楽しく学習していきましょう。子どもたちは楽しいと感じたことは積極的に取り組みます。このことが直接、音楽性を高めるとは言い難いのですが、楽しさを味わう一つのきっかけとなるかもしれません。先生方自身が童心に返って、遊びの要素を取り入れたレッスンをされてみてはいかがでしょうか。

<アンサンブルで楽しさを演出>

ピアノの練習は孤独です。ひとりで時間をかけてコツコツとやらなければならない作業です。でも、アンサンブルを取り入れることで、孤独感から解放されたり、楽しさを実感することができると思います。人と一緒に演奏することでパートナーと呼吸を合わせる大切さや、音楽的な表現力を習得させたいものです。発表会で積極的に連弾を取り入れてもいいですね。また、もし可能であれば連弾だけでなく、他の楽器との合奏も採用し、みんなで演奏することで、子どもたちが一体感を感じられるような工夫ができると良いと思います。アンサンブルを通して「共感の場」を多く提供し、それを「楽しさ」に繋げていく。「共感の体験」は、必ず子どもたちに勇気を与えてくれることでしょう。

松井美香

音楽家・音楽指導者・教育カウンセラー・
勇気づけマスター・「藤沢勇気づけの会」代表

<Facebook><https://www.facebook.com/mika.matsui.94>
<ブログタイトル>
～子どもから学ぶ～
「勇気づけの親子コミュニケーション」
URL : <http://ameblo.jp/makeachangewithlove/>

学研初！マスタークラス&公開レッスン開催！

ロシアのピアニズムに触れる

ピアノ・マスタークラス 公開レッスン ～ヤーコフ・カスマン准教授をお招きして～

2014年11月20日(木)、21日(金)、22日(土)、
24日(月祝)、25日(火)、26日(水)

午前の部 11:15 / 午後の部 15:00
※20日のみ 午前の部 11:30 / 午後の部 15:30

【会場】l'atelier by APC (渋谷駅から徒歩8分)

受講生・聴講生
募集中

■受講生

受講生1名につき45分のレッスンです。
お好きな曲目で受講いただけます。
※日本語通訳付き(英語、ロシア語でも受講可能です)

受講料：20,000円(税込)
定員：先着36名 ※1日6名

■聴講生

ロシアのレッスンのスタイルを間近でご覧いただけます。
日々のレッスンにぜひお役立てください。※日本語通訳付き

聴講料：半日2,000円(税込) / 1日3,000円(税込)
6日間通し15,000円(税込)
定員：先着50名

■お申込み・お問い合わせ

株式会社学研パブリッシング 音楽出版事業室
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8
TEL: 03-6431-1221 FAX: 03-6431-1649
E-mail: music-info@gakken.co.jp (担当:野村)

お気軽にお問い合わせください



おんがく通信 8月号のご案内させていただきました。マスタークラス&公開レッスン。読者の皆さまから、お問い合わせを多数いただいております♪
“マスタークラス”と聞きますと、少し近寄り難い印象があるかもしれませんが、しかし今回は、受講者のレベルは問いませんし、受講曲もお好きな曲目で良いので、どなたでもお気軽にご参加いただけます。さらに高い目標に向けて、ロシア音楽独特の表現方法やテクニックが体験できる、カスマン先生のワンランク上のレッスンを体験ください。

次号11月号では、ヤーコフ・カスマン先生について、もっと詳しくご紹介致します。

編集部のつぶやいたー！

スポーツの秋！
数十年のブランクはおおきいな～
でも大会目指して頑張ろう！(ヤ)

Tsubuyaitter.....

twitter [@gakken_music](https://twitter.com/gakken_music) 日々のよしなしごとや最新情報をツイートしています！

Web版も
バックナンバーが
閲覧できる！
Webならではの
情報が満載！

学研
おんがく通信

10月号

2014年9月25日

Gakken
(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8
Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/> 学研 電子ストア <http://ebook.gakken.jp/gstore/>

毎年恒例で、夏休みに親戚一同が集まりました。いつもはおみやげに地域の銘菓を持ってでかけるのですが、今夏は、大人には『大人の科学マガジン』を、子どもたちには『学研の図鑑 LIVE』と『学研音楽まんがシリーズ』を用意しました。「口から先に生まれた」(の)一族ですが、一瞬にして皆おとなしくなり、熟読を……。おみやげの参考にどうぞ！(笑)(の)

生徒さんの大切な思い出づくりに・・・

ピアノ発表会

編集部のおすすめアイデア

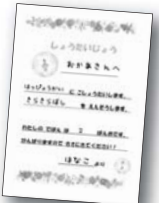
●プログラムに生徒さんのコメントを載せてみよう！

「はじめての発表会です。」「途中の16分音符が難しいですが、がんばります。」「部活で忙しいけど、ピアノが大好きで、練習をがんばりました。きいてください」…など、生徒さんひとりひとりの言葉がプログラムに載っていると、「どんな想いで弾いているのか?」「どんな心境なのか?」がわかり、お客さまも楽しめます。会場に一体感が生まれること間違いなし。「他のお子さんの演奏を聴いてくれない」とお悩みの教室にも効果的です。



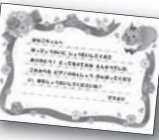
●招待状を出してみよう！

お母さんへ、お父さんへ、おばあちゃんへ、学校のお友だちへ…
「ぜひいらしてください」と言葉で伝えるのもいいけれど、生徒さん直筆の「しょうたいじょう」はぬくもりが伝わります。そして、生徒さん自身も、招待状を書くことで発表会に向けてのやる気もアップ!さらに、招待客が増えて教室をアピールする絶好の機会になるかも!!



●メッセージカードを用意してみよう！

聴きにきてくれたお客さまから生徒さんへ、メッセージを書いてもらいましょう。また、生徒さん同士で感想を書いたカードを交換し、演奏を聴く意識をもたせるのもひとつのアイデアです。ある先生の教室では、レッスン中に、生徒さん同士でメッセージを交換しているそうです。先生よりも厳格的確なメッセージを書いてくることもあるのだとか。お友だちの演奏を「聴く」ことで耳が育ち、知らないうちにどんどん成長していつくれるようになります。



ピアノの先生お助け BOOK 好評発売中 ピアノの先生のためのイラスト集

【発表会編】

プログラムを手作りしたい！
会場に案内看板をおきたいな…。
⇒簡単に作れちゃうお助けツール新発売



発表会のさまざまな書類づくりに活用できる「イラスト・データ」がたっぷり収録されているCD-R付きブックです！プログラムは情報を入れ替えるだけ。案内看板はそのまま印刷OK!の「フォーマット・データ」もあるので、簡単に発表会の書類を手作りすることができます。今月ご紹介した「コメント入りのプログラム」「招待状」「メッセージカード」も収録されています。

■AB判 / 96頁 / 4C・1C / CD-ROM付き ■本体価格1,600円(税別)

ピアノの森から

田丸信明先生のすてきなオリジナル曲をご紹介します

第4回

そろそろ紅葉の季節。遠くへ紅葉狩りに出かけるのも素敵ですが、身近にある、ロマンティックな“小さな秋”を探してみませんか？名曲「公園通り」を弾くと、憧れの街並み、秋に鮮やかに彩られた公園と並木道が目前に現れるよう。街と自然とが調和しているたたずまいが素敵です。初夏のみずみずしい緑と爽やかに薫る風を感じて弾くのも良い曲ですが、個人的には秋のさまざまな色彩のほうを感じながら弾きたいです。このたび新訂となった「ピアノの森4」にも収録されています。(か)

名曲誕生物語

《ラプソディ・イン・ブルー》 ガーシュウィン作曲

音楽作家 ひのまどか (漫画:IKE)

アメリカの音楽、というあなたは何を思い浮かべますか？ ジャズ？ ブルース？ 黒人霊歌？ どれも19世紀の終わり頃にはアメリカの都市でも田舎でも鳴り響いていましたが、“文化人”はそれらをアメリカの音楽とは認めませんでした。なぜならば、アメリカはヨーロッパ各国の移民が建設した国で、文化人が求めていたのはヨーロッパ並の「アメリカ産クラシック音楽」だったからです。そこでサーバー女史という大富豪が「ナショナル音楽院」を創設し、ボヘミア（現チェコ）の大作曲家ドヴォルザークを院長に招いて若手作曲家の育成を頼みましたが、短期間しか滞在してくれなかったので成果はありませんでした。そのドヴォルザークが帰国した3年後の1898年、ニューヨークの下町ブルックリンで生まれたのが、ガーシュウィンです。ガーシュウィンはユダヤ系ロシア移民の2世で、町のガキ大将でしたが、12歳の時突如音楽に目覚めてピアノに浸る毎日になりました。その間彼は、出来たばかりのジュリアード音楽院に入るでもなく、クラシック音楽を学びにヨーロッパに留学するでもなく、個人の先生に付きながら驚異的な上達ぶりを見せ、15歳でプロのピアノ弾きになり、楽譜屋街ティン・パン・アレーの宣伝ピアニストをする内に大ヒット曲《スワニー》を書いて一躍名を上げ、またたく間にポピュラー界の売れっ子作曲家になりました。そして25歳の時の「ジャズ王」ポール・ホワイトマンとの出会いから生まれたのが、ジャズとクラシックを融合させたピアノ協奏曲《ラプソディ・イン・ブルー》だったのです。



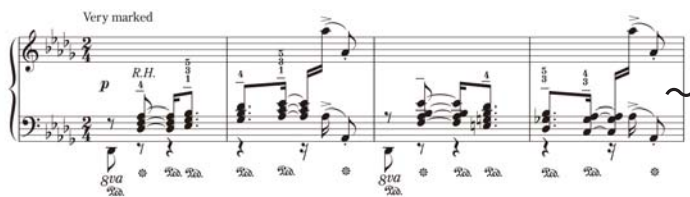
学研 音楽まんがシリーズ「世界のピアノ名曲10-名曲誕生物語-」より

新大陸アメリカ産の音楽、ジャズ、ブルース、黒人霊歌、チャールストン等に囲まれて育ったガーシュウィンは、本能的にそれらを取り入れたものこそ「真のアメリカ音楽」だと分っていたのです。彼の音楽は「シンフォニック・ジャズ」と呼ばれ、クラシック音楽の殿堂カーネギー・ホールで演奏されるようになったのです。

発表会におすすめのガーシュウィンのピアノ曲

●アイ・ガット・リズム

ガーシュウィン好きのピアノ弾きにおすすめの曲は、ジャズ・ナンバーとして有名な《アイ・ガット・リズム》！ガーシュウィンの兄アイラの歌詞も印象的な原曲は、ミュージカル《ガール・クレージー》の中の一曲として発表されましたが、ピアノ連弾、ピアノ独奏の楽譜も出版されています。ピアノ独奏譜は4頁なので、意外とさっと弾けちゃうかも!? 参考音源付きの楽譜もありますので、ぜひレパートリーに加えてみてください。



⇒掲載楽譜 『新選ピアノ名曲120上級』
■本体価格 1,200円 (税別)
⇒参考音源 『CD付きポケット判 新選ピアノ名曲120上級II』
CD演奏：金子恵
■本体価格 1,800円 (税別)



発表会でおなじみの

名曲誕生のおはなしがまんがで読める！

- 学研 音楽まんがシリーズ
世界のピアノ名曲10-名曲誕生物語-
監修：ひのまどか
- 菊判/176頁/1C/CD付き
本体価格 1,600円 (税別)

- ★全10曲のおはなしが収録★
アンナ・マグダレーナの音楽帳/トルコ行進曲/
エリゼのために/革命のエチュード/ラ・カンパネラ/
乙女の祈り/ハンガリー舞曲/展覧会の絵/
月の光/ラプソディ・イン・ブルー

★好評発売中★

今月のあかね先生

あかね先生のレッスン・ルーム⑦

今月は、「おんぶ」のセミナーから「せん」と「かん」のおはなしです。セミナーでは、大譜表内の25個の音符をグループに分けて覚える方法を伝授していただけます。どんな生徒さんでも、このシステムで指導すると“数え読み”をしなくなるとか。右図のように「せん」グループと「かん」グループに分けて、グループごとに覚えていく方法です。

「せん」グループは図1のように、あかとオレンジの…“そしれふあら”の間にみどりの“どどみ”が挟まれている、ということを説明するのですが…説明をきくだけではわからないですね。そこで、セミナーでは、あかね先生がオリジナルで作られた「せんのおうた」という歌をご紹介します。子どもたちが大好きなこの歌については…次号で!お楽しみに☆(いも)

今月のセミナースケジュール

- 10/7 (火): [愛知県/豊橋] オリエント楽器 豊橋店
『ピアノ・テクニックのレッスン法〜初歩からすてきな音をならしましょう〜』
- 10/8 (水): [神奈川県/茅ヶ崎] 長谷川楽器 本店
『子どもが飽きないリズムのレッスン〈導入編〉』
- 10/21 (火): [東京都/武蔵村山] two-five イオンモールむさし村山店
『リズムを確実に身につけるためのレッスン〈発展編〉』
- 10/28 (火): [長野県/長野] ホクト文化ホール 小ホール
『ピアノ・テクニックのレッスン法〜初歩からすてきな音をならしましょう〜』

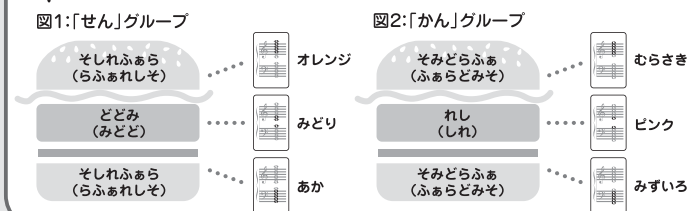
●グループカード

大譜表の音符をグループでおぼえるためのカードです。



図1

グループカードをハンバーガーの図であらわしてみました。



『みんなだいすき!おんぶカード』/『みんなだいすき!おおきなサイズのおんぶカード』より

*「おんぶ」のセミナー: 楽しくおぼえる「おんぶ」のレッスン〜大譜表の「おんぶカード」を使って〜

Lento

大人のレッスン
Lesson.2

黒田篤志 くらだ・あつし
1973年生まれ。早稲田大学修士課程修了。日本アマチュアピアノコンクール7位入賞。出版社にて楽譜と書籍の編集を担当。現在小山市で、大人のピアノ教室「Lento レント」を主宰するかわら、フリーの編集者、ピアニストとして活動中。
<http://ameblo.jp/pianote0519/>

ピアノが上手に弾けるようになるためには、専門的な厳しいレッスンがある程度受け続けなければなりません。ところが、私の教室に来てくださっている大半の方は、そうしたレッスンに敷居の高さや苦しさを感じられた大人の方ですから、「上達するために努力を続ける」という正攻法が、かえってアダになることもよくあります。こんなときは、「癒し」「個性」「貢献」というキーワードをお伝えすることにしています。ピアノはつい頑張ってしまうもの。しかし、上達を考えなければ、ピアノは自分を無償で受け入れてくれるやさしい存在になります。そっと寄り添ってしてくれるピアノが、音でカラダの中の汚れを洗い流してくれるような感覚を味わうことが「癒し」です。「個性」は、今の自分を肯定することです。芸術家の作品は、基本的に大人のために作られていますから、豊かな人生経験によって培

われた個性があつてこそ、はじめて作品のよさを感じられると私は考えています。弾きたい曲が見つかったときは、そうした個性が作品と共鳴する稀有な機会が訪れたということ。「まだ弾けるレベルではない」というように、今の自分を否定してせっかくのチャンスを逃すのではなく、曲を好きになった自分を肯定的に受け入れて、少々難曲でも挑戦するべきだと思います。「貢献」は、ボランティアなどの社会活動です。私は毎月1回、介護施設で慰問演奏会を行っています。最近では、教室の方と一緒に訪問し、その方の独奏や私との連弾を披露しています。むしろ、私がひとりで演奏するよりもウケがいいことがしばしばですから、演奏のレベルではなく、ピアノを介して誰かのために行動することに、意義があるようです。「癒し」の場合は恋人、「個性」の場合はよき理解者、そして「貢献」の場合は社会との仲介者。共通しているのは、ピアノが「自分を認めて自分と真摯に向き合ってくれる人」のような存在であることです。上達をあえて最大の目的にしないことも、大人のピアノの秘訣ではないでしょうか。

黒田篤志

編集部チョイスおすすめの1曲

ラッパの名手
(チェルニー 作曲/井内澄子 編)
レベル:★★☆☆



「110番練習曲集」31番に「ラッパの名手」というタイトルが付いています。ピアノでラッパの音色を出すようなイメージで楽しく弾きましょう。

掲載楽譜→こどものチェルニー3

つむりの練習手帳

ブルクミュラーの「狩り」を、夏休み全部使ってやっと仕上げたつむり。つむりは結構神経質なんで、ちょっと間違えちゃうとすぐに止まって弾き直しちゃう。だから、仕上げなのにたどたどしかったりするんだけど、この曲は最後まで止まらないで弾けたみたいで、花マルをもらって帰ってきました。(トホホお兄)

つむり現在の楽譜
☆こどものハノン④
☆プレ・インベンション
☆びあのだりーむ
ブルクミュラー 25の練習曲
☆ル・クーベ
ピアノのアルファベット (ABC)